

E - SX80系, E - GX80系, E - YX80系, Q - LX80系 (マークIIセダン)

P店

標 題 トヨタ マークIIセダンの定期点検についてのお知らせ

トヨタ マークIIセダンの改良に伴い、定期点検に関する点検項目と整備基準値をお知らせします。
なお、本整備編に記載されていない項目については下記資料を参照してください。

整備関係資料

資 料 名	品 番	発 行 年 月
トヨタ新車点検作業要領説明書 (乗用車編)	66477	1991年2月
トヨタ定期点検作業要領説明書	68550	1983年7月
技術連絡書修理編 新定期点検整備方式について	総括4032	1984年12月
トヨタ マークII・チェイサー・クレスト修理書 上巻, 下巻	62105 62113	1988年8月
トヨタ マークII・チェイサー・クレスト修理書 / 追補版	62118	1989年8月
トヨタ マークII・チェイサー・クレスト修理書 / 追補版	62122	1990年8月
トヨタ マークIIセダン修理書	62143	1993年2月

目 次

	ページ
1. 点検整備方式の変更点	2
2. 各部油脂・冷却水と容量	3
3. 定期点検整備基準値	4
4. 定期点検作業要領	7

1. 点検整備方式の変更点

点検整備項目			点検整備時期							点検方法及び判定基準	備考		
			運行前	自家用			事業用等					走行の整備 キロkm	交換時期 年毎
				6か月毎	12か月毎	24か月毎	1か月毎	3か月毎	12か月毎				
制動装置	ABS	作動状態			○						点検方法: 〔アクチュエーターの作動状態の点検〕 ABS用チェッカーをアクチュエーターに接続し作動を確認する。	自家用の第1回目は36カ月に点検	

○印はメーカー推奨を示す。

2. 各部油脂・冷却水と容量

項 目		容 量 (ℓ)			指 定 油 脂
油 脂 名	型 式	オイルのみ交換時	オイルとオイルフィルター交換時	全容量	
エンジンオイル	4S-FE	3.6	3.8	4.5	キャッスル・クリーンシンサート (SG) キャッスル・クリーンSG (SG) キャッスル・クリーンSG フリート (SG) キャッスル・クリーンターボ (SF) キャッスル・クリーンエクセレント (SF) キャッスル・クリーンSF フリート (SF) キャッスル・クリーンロイヤルII (SE) キャッスル・クリーンSE フリート (SE)
	1G-FE	4.1	4.3	4.5	
	3Y-P	3.0	3.5	4.2	上記8種類に加えて キャッスル・クリーンLPG
	2L	4.3	5.3	6.0	キャッスル・ディーゼルオイル ニュースペシャルII (CD) キャッスル・ディーゼラックスS-3 (CD) キャッスル・CD マルチフリート (CD)
冷 却 水	4S-FE	6.8			LLC (キャッスル・ロングライフクーラント) 凍結保証温度 濃度 30% …………… -12°C 濃度 50% …………… -35°C
	1G-FE	6.9			
	3Y-P	7.2			
	2L	9.6			
マニユアル トランスミッション オイル	W55	2.6			キャッスル・MG ギヤオイルスペシャルII (80W-140)
オートマチック トランスミッション オイル	A42D	6.7			キャッスル・オートフルードD-II
	A42DL	6.3			
	A43D	6.5			
ディファレンシャル オイル	4 リ ン ク	7.1インチ	1.4		キャッスル・ハイポイドギヤオイルSX
		7.5インチ	1.5		
	I R S	7.5インチ	1.2		
		7.5インチ (LSD)	1.2		
パワーステアリング フルード	4S-FE 1G-FE	0.7			キャッスル・パワーステアリングフルード
	3Y-P 2L	0.8			
クラッチフルード				トヨタブレーキフルード2500 H	
ブレーキフルード					
エアコンコンプレッサーオイル				[ディーゼルのタクシー] ND-OIL 6 (冷媒 R 12 a 用) [ディーゼルのタクシーを除く] ND-OIL 8 (新冷媒 R 134 a 用)	

3. 定期点検整備基準値

エンジン関係

項 目		エンジン型式	4S-FE	1G-FE	3Y-P	2L	
Vリブドベルト たわみ量 [押力10kg] (mm) ()内は張力(kg)	オルタネーター ベルト	A/Cなし	13~17 (30~45)	14~18 (25~40)	7~8 (35~45)	10~14 / 本 (20~35) [Vベルト 2本掛け]	
		A/C付き	9~11 (45~55)				
	A/C ベルト		—	9~11 (25~40)	9~13 (20~35)		17~21 (20~35)
	P/S ベルト		9~14 (20~35)	7~9 (20~35)	7~10 (20~35)		10~15 (20~35)
バッテリー液比重 [液温20°C]			1.250~1.270			1.270~1.290	
点 火 時 期 (°BTDC/rpm)	T 端子 短 絡 *サブ進角なし	M/T	10±2 / 650	—	*12±2 / 600	—	
		A/T	10±2 / 700	←	*12±2 / 750		
	T 端子 開 放	M/T	10~20 / 650	—	12±2 / 600		
		A/T	10~20 / 700	12以上 / 700	12±2 / 750		
噴 射 時 期 [T D C 静 止] プ ラ ン ジ ャ ー リ フ ト 量 (mm)			—	—	—	0.60±0.06	
噴 射 圧 力 (kg/cm ²)			—	—	—	145~155	
アイドル回転数 (rpm)	M/T	650±50	—	600±50	750±50		
	A/T	700±50	←	750±50	800±50		
アイドルCO濃度 (%)			1.0以下	←	2.5以下(M/T) 1.5以下(A/T)	—	
アイドルHC濃度 (ppm)			800以下	←	←	—	
ディーゼルスモーク濃度 (%)			—	—	—	50以下	
アイドルキューム (mm/Hg)			450以上	430以上	480以上	—	
バルブクリアランス [冷間時] (mm)	I N	0.24±0.05	0.20±0.05	無調整式	0.25±0.05		
	E X	0.33±0.05	0.30±0.05	無調整式	0.45±0.05		
シリンダーヘッド締め付けトルク (kg·cm)			※1	650	900 (M12) 195 (M8)	※1	
インテークマニホールド締め付けトルク (kg·cm)			195	180	500	240	
エキゾーストマニホールド締め付けトルク (kg·cm)			500	260	500	530	
圧 縮 圧 力 [250 rpm 時] (kg/cm ²)	基準値	12.5	13.0	←	32.0		
	限 度	10.0	←	9.0	20.0		
	気筒差	1.0	←	←	5.0		
スパークプラグキャップ (mm)	基準値	1.0~1.1	←	← ※2	—		
	限 度	1.3	←	1.4			
ラジエーターキャップ開弁圧 (kg/cm ²)	基準値	0.75~1.05	←	←	←		
	限 度	0.60	←	←	←		

※1. 塑性域締め付けのため点検不要

※2. 白金プラグ使用のため点検, 調整不要

シャシー関係(1/2)

項 目		車両型式	SX 80, YX 80, LX 80	GX 81	
ステアリングホイールの遊び [ステアリングホイール外周にて] (mm) [油圧作動時]			0 ~ 30	←	
フロントホイール アライメント	サイドスリップ [1mにつき] (mm)		0 ~ 3	←	
	トーイン点検基準値 (mm)		2 ± 2	←	
	キャンバー点検基準値		0°30' ± 45'	←	
	キャスター点検基準値		7°20' ± 45'	←	
	キングピンアングル 点検基準値(参考値)		13°10' ± 45'	←	
リヤホイール アライメント	トーイン点検基準値 (mm)		0 ± 1	2 ± 2	
	キャンバー点検基準値		0° ± 45'	0°00' ± 45'	
フロントホイール 左右回転角度	内 側		41°00' ± 1°30'	←	
	外 側 (参考値)		34°	←	
ブレーキペダル (mm)	高 さ [アスファルトシート 上面より]		157 ~ 167	←	
	遊 び [負圧なしの状態]		1 ~ 6	←	
	踏み残りしろ [踏力 50 kg] [エンジンONの状態]		77 以上	←	
パーキング ブレーキ 引きしろ	レバ ー 式 [操作力20kg] (ノッチ数)		5 ~ 8	←	
	足 踏 み 式 [操作力30kg] (ノッチ数)		5 ~ 7	←	
パーキング ブレーキ	ドラムの内径 (mm)	基準値	—	176.0	
		限度	—	177.0	
	ライニングの 厚 さ (mm)	基準値	—	2.0	
		限度	—	1.0	
	ブレーキの 効き具合	制動力	検査時車両重量の 20 % 以上		
		操作力	50 kg 以下		
ブレーキドラム の 内 径 (mm)	後 輪	基準値	228.6	—	
		限度	230.6	—	
ブレーキ ライニング の 厚 さ (mm)	後 輪	基準値	5.0	—	
		限度	1.0	—	

シャシー関係(2/2)

項 目		車両型式	SX 80, YX 80, LX 80	GX 81
ディスクブレーキ パッドの厚さ (mm)	前 輪	基 準 値	10.0	←
		限 度	1.0	←
	後 輪	基 準 値	—	9.0
		限 度	—	1.0
ディスクブレーキ ローターの厚さ (mm)	前 輪	基 準 値	20.0	←
		限 度	19.0	←
	後 輪	基 準 値	—	10.0
		限 度	—	9.0
ディスクの振れ限度 [外周より10mm内側] (mm)	前 輪		0.07	←
	後 輪		0.13	←
ブレーキの効き具合 (注) 前輪のすべての車輪が ロックし、計測困難な場合 は、その状態で総和に対し て適合するものとみなす。	制 動 力	後 輪 和	軸重の20%以上	
		各輪左右差	軸重の8%以下	
		総 和	検査時車両重量の50%以上	
クラッチペダル (mm)	高 さ [アスファルトシート 上面より]		158~168	←
	遊 び [ペダル上にて]		5~15	←
	切れ残りストローク		25以上	←
プロペラシャフトの振れ限度 (mm)			0.8以下 1.1以下 (フレキシブルカップリング付き車)	
ホイールベアリング ハブ軸方向の動き量 (mm)	前 輪		0.05以下	←
	後 輪		0.7以下	0.05以下
ホイールナットの締め付けトルク (kg·cm)			1050	←
タイヤ残り溝 (mm)			1.6まで	←

タイヤ空気圧 (kg/cm²)

タイヤサイズ	一 般	高 速
175 SR14	1.7 1.9 (LX80)	2.0 2.2 (LX80)
185 / 70R14 88H 185 / 70R14 88S	1.9	2.2

4. 定期点検作業要領

1. 二次空気供給 (導入) 装置の機能

3Y-P

- (1) エアクリーナーキャップをはずした状態でアイドル運転をしたとき、エアクリーナーより吸入音 (ポコポコ音) がすることを確認する。
- (2) (1)の状態、エンジン回転を約 2000 rpm に上げたとき、エアクリーナーより吸入音 (ポコポコ音) が止まることを確認する。

2. 排気ガス再循環装置の機能

3Y-P

- (1) エンジン暖機後、アイドル運転状態で、EGRバルブのパキュームホースに負圧がかかっていないことを確認する。
- (2) エンジンをアイドル回転から 3000 rpm までのレーシングを繰り返したとき、EGRバルブのパキュームホースにその都度、負圧がかかることを確認する。

2L

- (1) エンジン暖機後、アイドル運転状態で、EGRバルブのパキュームホースに負圧がかかっていることを確認する。
- (2) 水温 55°C 以下のアイドル運転状態で、EGRバルブのパキュームホースに負圧がかからないことを確認する。

3. 減速時排気ガス減少装置の機能

1G-FE

エンジン暖機後、ダッシュポットを作動させないようにし、インジェクターに指を当ててエンジン回転を 3500 rpm 以上まで上げ、スロットルレバーを戻したとき、インジェクターの作動による振動が一瞬止まることを確認する。

4S-FE

エンジン暖機後、インジェクターに指をあててエンジン回転を 3500 rpm 以上まで上げ、スロットルレバーを戻したとき、インジェクターの作動による振動が一瞬止まることを確認する。

3Y-P

エンジン暖機後、エンジン回転を 2500 rpm 以上まで上げ、スロットルレバーを戻したとき、レギュレーターのエ磁弁の作動音があることを確認する。